



川井クリニックニュース

平成21年第1号

2009年1月5日発行

明

けましておめでとうございます

今年も職員一同来院された皆様方により良い医療を提供できるよう、一步一步努力してゆきたいと思います。

1996年新年より当院の保険診療は始まりましたので、今年は13年目になります。一ヶ月に来院される患者数は1996年1月の307名から徐々に増加し、現在は2000名を越えています。2008年8月に来院した2061名の患者さんの内訳は、糖尿病1823名(88.5%)、高血圧75名(3.4%)、高脂血症63名(3.1%)、甲状腺疾患46名(2.2%)です。糖尿病の方は、高血圧症・高脂血症・甲状腺疾患の薬を服用している方も多く、各々696名、413名、52名となります。このような具体的な数字ができるのは、当院ではCoDiC(コーディック)というコンピューターソフトを使用し、来院された患者さんの診療情報を管理しているからです。一般に使われている電子カルテでも診療情報を保存することは出来ますが、電子カルテでは目的をもってその情報を整理・抽出することは出来ません。そこで電子カルテ情報の一部を取り出し、集積して利用しようという目的で当院が開発したソフトがCoDiC-MSです。CoDiCを使っている全国の糖尿病専門医約80名から成る研究会が糖尿病データマネジメント研究会であり、当院はその事務局となり、研究会の活動を推進しております。院内のポスターでも既にお知らせしていますように、この研究会は日本人における糖尿病診療の成果を知るため種々の研究プロジェクトをこれまで実施しています。その研究結果は書架にファイルされていますので是非、御覧下さい。研究プロジェクトの中にはアンケート調査もあります。アンケートに回答するのはご面倒なことと拝察しますが、より良い糖尿病診療の方法を科学的に実証しようとしている糖尿病データマネジメント研究会の目的に賛同して頂き、ご協力願えれば幸いです。

さて、既にお伝えしてあります次回来院日の予約にIT技術を利用することも1月から開始します。皆様方にタッチパネルを使用し、乗車券を予約するのと同じような方法で予約を行うことを目標に考えておりますが、来院者の平均年齢が高いためご自身で操作することが困難な方が多いと予想しました。そこで、最初の3ヶ月程度は全面的に職員が操作をバックアップし、来院日の原則・来院時間・医師の選び方等をアドバイスします。受付後、予約専用窓口より声が掛かりますので、その間に次回来院の希望日時を考えておいてください。医師1名が診療出来る人数の制限や来院間隔、予約の変更等様々な問題点が想定されますので、以下に説明致します。

まず、医師の選択についてですが、どの医師も川井クリニックとしての診療方針に沿って治療していますので、初診時に院長がその方針を決めています。決めた方針で上手く行くことが分かれば、原則として院長ともう一人の医師が交代で診察する事にしています。現時点では、院長が筑波大学時代から診ている方の場合は続けて診ることがありますし、また外傷等を含めて何か特別な事態が生じた場合には院長が診ていますので、院長が診る患者数が増えます。そうなると、頭脳労働としてはかなりの負担になりますので、状態が安定している方は院長と第2診察室の医師との交代で診療する方針に御協力下さい。来院間隔については、やはり1ヶ月に1度定期的に来院されている糖尿病患者さんはHbA1Cが低く、安定しています。病気と正面から向き合っているという気持ちの現れと考えます。予約をされない方や、「忙しいので今回は処のみ」という方のHbA1Cは高値です。まずは1ヶ月に1度の定期通院を考えて下さい。一方、高血圧、高脂血症、甲状腺疾患の患者さんの場合、一度薬が効くと安定した状態を維持しやすいので、6週・8週処方の方がいます。糖尿病の場合は食生活・運動・生活上の変化が薬の効果を無くしてしまうこともありますが、1~2年の経過を見た上で安定している方には6週や8週処方も行っています。以上のような、当院での来院間隔の原則を御理解頂き、4週ないし5週後の同じ曜日の予約を心掛け下さい。そうしないと、いつになんて患者さんご自身に予約を任せられないという事態になってしまうと考えています。最後に予約の変更ですが、1月から予約専用電話回線(029-861-7571)にてお受け致します。4月以降には自動音声対応を利用した24時間変更受付とインターネットを利用した予約受付を開始する予定です。現在は、受付に直接電話がかかり事務作業が遅れる大きな原因となっていますが、これらが解消されることでよりスムーズな皆様方への対応が出来ると考えております。今後は予約の取得・変更是予約専用端末でのみ可能となるため、受付への電話による予約変更はできませんのでご了承ください。

2009年の年始にあたり、皆様へ今年当院が予定している事業へのご協力のお願いとご説明をさせて頂きました。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

院長 川井紘一

桐の木会活動報告

2008年11月26日(水)に桐の木会日帰り

旅行が開催され、鎌倉に行ってきました。鎌倉の紅葉の見ごろは12月中旬だそうですが、当日は晴天に恵まれ、所々で美しい紅葉が見られました。紅葉に彩られた古都の風景は大変趣がありました。



午前中は、長谷寺や鎌倉の大仏の名で親しまれている高徳院、そして鶴岡八幡宮を参拝しました。その後で懐石料理と蕎麦の老舗である「峰本」で精進料理を頂きました。精進料理は豆腐、野菜の天麩羅、煮物などでした。どれも素材そのものの良さが活かされており、美味しく頂きました。午後は、参加された方々で買物や散策を楽しんで頂きました。

今回参加された中で、初めて鎌倉を訪れたという方はおらず、皆さんが久しぶりの鎌倉観光を楽しむことが出来たようです。鎌倉は何度訪れても、いつも違った楽しみ方が出来る街です。

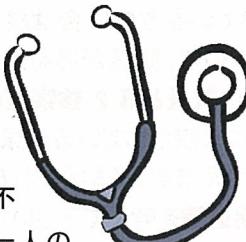
次回の桐の木会は3月4日(水)に調理実習を予定しております。今回のテーマは「フランス料理を楽しもう～ORAC 食を取り入れて～」です。家庭で楽しめる料理を紹介致します。皆様の参加をお待ちしております。

※ORAC…どれだけ活性酸素を吸収する能力(抗酸化力)があるかを具体的な数値で表したもの。

研修医による診療

当院では毎年4月と9

月に筑波大学より新しい研修医が派遣され、6ヶ月間週一回の診療研修を行っております。臨床経験が少ない研修医の診療では不安だという意見もございますが、一人の医師として患者さん一人一人に誠意と責任をもって診療をしております。



研修医の診療は常に井川医師同席のもとで行われており、患者さんの状態は院長が把握した上で研修医が診察しております。診療の場を提供することによって、将来の有能な医師の育成に協力したいという院長の考えもあります。

現在は三好理絵先生が毎週木曜日に診療を行っております。皆様のご理解を頂けますよう、お願い致します。

予約方法の変更

院長の挨拶にもありましたが、当院では2009年1月より予約システムを導入致します。これまでには次回来院予約を会計時にお取り頂いておりましたが、今後は、受付後に**予約専用窓口**でご予約をお取り頂きます。専任スタッフがお名前をお呼び致しますので、新館待合室にてお待ち下さい。

また、システムの導入にあたり、診察券が新しくなります。今度の診察券は表面に次回予約日が大きく見やすく印字されます。会計後、お受け取りの際には必ず予約日のご確認を願います。裏面には予約専用電話のご案内もあります。予約変更などにご利用下さい。

しばらくの間、新システムで不慣れな部分もあり、ご迷惑をおかけすることもございますが、ご協力頂けますようお願い致します。



院長不在のお知らせ

1月と2月は学会や講演会が重なりご迷惑をお掛けします。不在日には火曜日の診療を担当している齊藤和美先生が代診を務めますので、宜しくお願ひ致します。

1月17日(土)午後 つくば市民公開講座

1月24日(土)

日本糖尿病学会関東甲信越地方会(横浜)

1月31日(土)午後 講演会(東京)

2月20日(金)・21日(土)

糖尿病学の進歩(松本)



職員退職のお知らせ

1998年5月より長期に渡り勤務しておりました看護師・飯泉恵子が昨年12月20日付で退職しました。ベテランのスタッフがいなくなることは当院にとっても痛手ですが、今後の彼女の活躍を願っております。

それに伴い、4月より看護師が、また8月から薬師が入職する予定です。

それまでの間は、皆様にご迷惑お掛けすることもあるかと思いますが、宜しくお願ひ致します。